

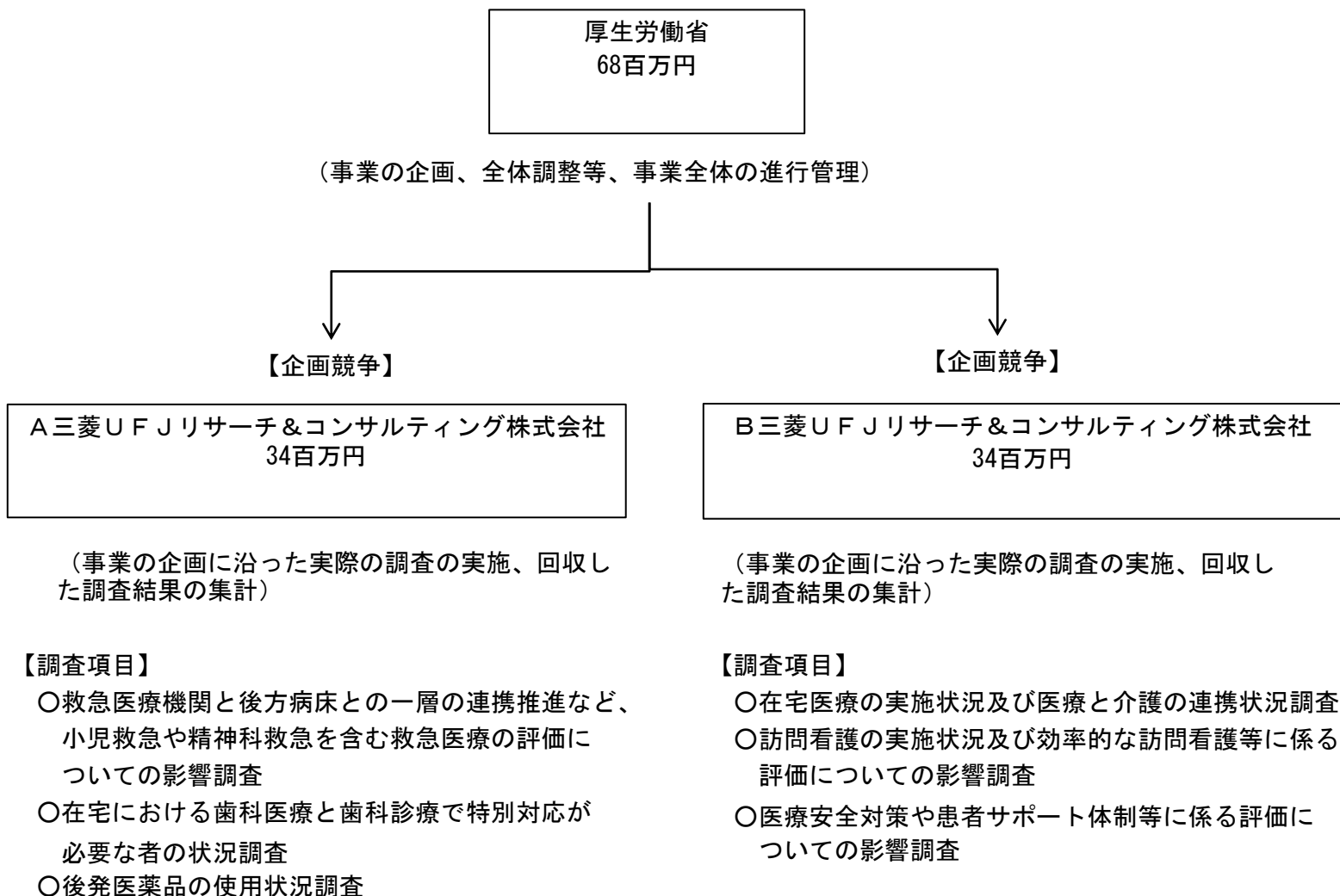
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	診療報酬体系見直し後の評価等に係る調査に必要な経費（診療報酬の見直しに係る意見募集に必要な経費、見直し後の診療報酬体系についての評価に係る調査及び先進医療に関する調査研究）		担当部局庁	保険局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	医療課	宇都宮 啓		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	社会保険医療協議会法第8条第二項		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	前回の診療報酬改定において改定を行った事項についての結果検証の実施、関係団体から提出される医療技術や先進医療について、新規医療技術の評価及び既存医療技術の再評価の実施、改定の骨子に対するパブリックコメントの実施により、診療報酬改定を行う上での資料を得て、診療報酬改定の議論に資することを目的としている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1 5～6項目の調査項目について調査票により調査を実施し、提出された調査票の集計、分析を行い、その分析結果について内容の検証、評価を行う、 2 関係学会等から提出された医療技術の評価・再評価希望書について評価を行う、 3 厚生労働省ホームページを利用してパブリックコメントを実施し、広く国民の意見を募集する、 という事業を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	81	80	68	85	85
		補正予算					
		繰越し等					
	計	81	80	68	85	85	
	執行額	67	78	68			
執行率(%)	83.66%	97.14%	100.00%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	国民から寄せられた意見の集計業務、診療報酬改定の結果の検証を実施し、検証結果を次回診療報酬改定の基礎データとするための事業及び医療技術の評価する事業であり、定量的な評価は困難である。		成果実績	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	次回診療報酬改定の基礎データを作成するための、調査・分析・集計当を実施するものであり、定量的な指標を作成することは困難である。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-
単位当たりコスト	-		算出根拠	国民からの意見の集計、中医協検証部会策定の調査項目についての調査、医療技術についての評価を行うためにWGの実施、分科会における評価などを実施し、調査・分析・集計等を行う業務であるため、統計調査と同様な単純単価算出は困難である。			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	意見募集に必要な経費	1	1				
	調査分析経費	56	56				
	後発医薬品調査費	13	13				
	先進医療に関する調査研究費	15	15				
	計	85	85				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	診療報酬改定の効果について検証することは、医療費を支払う国民が求めるところであると考ええる。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	改定の効果について検証することは、医療費の適正化を行うという観点から見て、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	診療報酬改定の結果を検証することは、医療費を支払う国民が求めるところであり、医療費適正化の観点から優先度は高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		×	業務を行う上での仕様上、一般競争入札が不可能であるため、企画競争を実施し、業務実施に適切な業者を選定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	全ての費目について、調査を実施し、その結果を得るための経費として使用されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	診療報酬改定において必要とされる十分なデータを得られている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	得られた成果物（データ）をもって、診療報酬改定を実施しており、十分に活用されている。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本事業は、業務の性質上一般競争入札は不可能であり、随意契約（企画競争）を採用することはやむを得ないと判断。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	282-3	平成23年	251-2	平成24年	218

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブ
 ロックごとに最大の金額が支出
 されている者について記載す
 る。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 三菱UFリサーチ&コンサルティング株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)
人件費	事業の企画に沿った実際の調査の実施、 回収した調査結果の集計	20
物件費	会議開催経費、印刷費、郵送料等	8
外部委託 データ入力費	株式会社D データ入力	3
その他	消費税等	3
計		34

B. 三菱UFリサーチ&コンサルティング株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)
人件費	事業の企画に沿った実際の調査の実施、 回収した調査結果の集計	20
物件費	会議開催経費、印刷費、郵送料等	8
外部委託 データ入力費	株式会社D データ入力	3
その他	消費税等	3
計		34

C.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

D.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

E.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

F.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

G.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

H.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	事業の企画に沿った実際の調査の実施、回収した調査結果の集計	34	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	事業の企画に沿った実際の調査の実施、回収した調査結果の集計	34	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					